

事務事業名		大船渡市社会福祉協議会運営補助金事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	014 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	112 地域福祉体制の構築					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 自立を支える地域福祉推進体制の充実			☐ 単年度のみ		01	03	01	01	04
根拠法令					☒ 単年度繰返 (開始 年度～)						
所属	部課名	生活福祉部			☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度～ 年度						
	係名	福祉推進係	電話内線	27-3111 182	※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
社会福祉協議会の事業 ・地域福祉ネットワーク事業やボランティア活動センターの運営など、社会福祉協議会で運営する業務を統括する。また、ボランティアの育成や各種団体の研修等を実施できるよう、総合福祉センター(盛町)の施設管理をする。 ・社会福祉協議会の主な業務は、(1)組織運営①理事会、評議員会の開催②会員加入の促進(2)地域福祉ネットワーク事業①各種相談等による福祉ニーズの把握(月曜日10時から15時まで市内2箇所専門の相談員による「心配事相談」)、②住民に対する福祉活動についての理解促進のための広報活動(社協だより)、③住民参加の福祉活動(一人暮らし高齢者を訪問する見守り活動、毎日のひきこもり防止のための三陸地区の地域公民館での手芸・音楽などのふれあいサロン活動等)の支援(3)ボランティア活動の振興と福祉教育の推進①手話、点字、朗読、要約筆記教室の開催②ボランティア協力校の指定(4)要援護世帯への資金貸付⑤生活福祉資金貸付相談⑥たすけあい金庫の貸付(5)受託事業①在宅福祉サービスの事業②生きがいと健康づくり事業③地域福祉権利擁護事業の推進④介護保険関連事業の実施等 市では社会福祉協議会に、補助金(人件費、施設管理費、光熱水費、事務費など)を交付している。							総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
										都道府県支出金	
										地方債	
										その他	
										一般財源	
										事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
トータルコスト(A)+(B)				0							

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 各種事業数 事業	
人件費局長外8名分の人件費、総合福祉センター管理費、事務費		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
人件費局長外8名分の人件費、総合福祉センター管理費、事務費			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象)		名称 単位	
・社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会		カ 会員数 世帯	
(間接の対象)		キ	
・社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会の会員である市民		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・運営費補助金を交付することにより、できるだけ多くの地域福祉活動をしてもらう。		名称 単位	
・地域福祉の活動を理解してもらい、できるだけ多くの市民に会員に加入してもらい、実際に福祉ボランティア活動をしてもらう。(1) (3)		サ ボランティア養成講座受講者数 人	
・市民の心配事や悩み事の相談に乗り、精神的な負担を軽減する。(2) (4)		シ 相談員による「心配ごと相談」実施日数 日	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス 一人暮らし高齢者を訪問する見守り活動日数 日	
・フォーマライゼーション理念を正しく理解してもらう。			
・積極的に自立を支える活動をしてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (j実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	34,250	41,519	44,436	43,639	40,858	40,800
		事業費計 (A)	千 円	34,250	41,519	44,436	43,639	40,858	40,800
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	20	20	20	20	20	20
		人件費計 (B)	千 円	80	80	80	80	80	80
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	34,330	41,599	44,516	43,719	40,938	40,880
⑤活動指標		ア	事業	58	58	58	58	54	56
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	世帯	14819	14789	14768	14817	14887	14865
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	人	287	174	149	150	140	89
		シ	日	51	51	51	51	51	40
		ス	日	240	247	244	240	240	197

事務事業ID	0158	事務事業名	大船渡市社会福祉協議会運営補助金事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

大船渡市社会福祉協議会の設立により、市の補助金がないと、社会福祉協議会の円滑な運営ができないため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

社会福祉協議会の円滑な運営のため市補助金の増額を要望されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

社会福祉協議会の円滑な運営のため市補助金の増額を要望されている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域福祉事業のもっとも身近な活動として、社会福祉協議会の活動は必要であり、円滑な運営のため市補助金は必要である。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域福祉事業のもっとも身近な活動として、社会福祉協議会の活動は必要であり、円滑な運営のため市補助金は必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市の福祉の目的や社会福祉協議会の活動目的にかなっている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 講座や相談、見守り活動などについて、今後も拡充してもらう。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市補助金がないと、社会福祉協議会の円滑な運営ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 地域のボランティア団体などの福祉活動 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 社会福祉協議会はそれぞれの福祉活動、ボランティア活動を統合し、連携を図る役割を持っているため、すでに統合、連携している。 ☐ 他に手段がない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 社会福祉協議会の自助努力、会員の勧誘のため会員へ社会福祉協議会の活動への理解をし、その上で、運営費を精査し、市補助金を決定する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 補助金申請受付、交付決定、補助金の交付のみであり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 会員(市内の各世帯)も会費1,000円(1世帯当り)を負担しており、社会福祉協議会も自助努力をしており、毎年運営費を精査の上、市補助金を交付している。社会福祉協議会の自助努力、会員の勧誘のため会員へ社会福祉協議会の活動への理解をし、その上で、運営費を精査し、市補助金を決定する。

事務事業ID	0158	事務事業名	大船渡市社会福祉協議会運営補助金事業
--------	------	-------	--------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 社会福祉協議会の自助努力、会員に社会福祉協議会の活動へ理解してもらい、その上で運営費を精査し、市補助金を決定する必要がある。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 社会福祉協議会の活動費と活動内容を精査して、今後のあり方を検討する必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

保健福祉課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
 ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
 ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
 ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切に事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)
- (上記方向性に対する具体的な内容)

社会福祉協議会の運営は必要な事業であるが、法人自らの経費削減に向けた一層の取り組みが求められる。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	●	○	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項